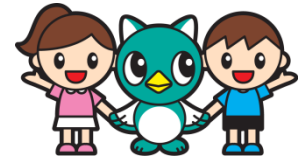


平成 27年度 すこやか親子世代の取り組み



【重点取り組み】

「親子のこころの健康を地域で支える健康づくりに取り組みます」

乳幼児期からのより良い家族関係を築くために、親の子どもへの接し方のスキルを高める新たな事業を検討します。また、地域で孤立することなく子育てするために、父親への支援を行うこと、地域住民・関係機関と一緒に地域の特性に合わせた「子育てしやすいまちづくり」を行うことを、地域ごとに実施している地域会議*（地域情報交換会等）を中心に推進します。

1. 子育てしやすいまちづくりについて

地域の現状や特性に合わせた、活動展開をすすめています。すこやか親子部会の委員に地域会議（情報交換会）や地域事務局会議**等に参加いただき、地域活動について話し合いを重ねました。

地 域	開催回数 (情報交換会回数)	主な取り組み内容
阿 蘇	4 回 (1 回)	次の親になる世代への支援として、阿蘇中学校と連携した取り組みができないか検討し、中学校へ若年親の地区現状を伝えたり、地域子育て支援センタートップスで子育て中の親子と中学生の交流会の企画について提案した。外国人支援として、ベトナムの母の子育てでの困りごとや交流の必要性の有無などの把握のために、母子保健推進員の紹介で日本語ができるベトナムの方とスタッフが話す機会を得た。
村 上	8 回 (1 回)	情報交換会では「子育てしやすいまちづくり」をテーマとし、見守りが必要だと思われる母子や場面、支援方法についてグループワークを実施した。
睦	3 回 (1 回)	新しい母子保健推進員 2 名のため、家庭訪問になれ、そこから見えてくる地域の母子の姿を共有することからスタートした。 睦中学校生徒の海外交流を図る「学友会」について報告を受け、中学生を軸にして幅広い世代のつながりから乳幼児もその輪の中に入れて考えられないか検討した。 地域情報交換会で「睦地区の子どもの安全を守る視点で考える」をテーマに地域の危険か所等の情報を共有した。
ゆりのき台 大和田新田下区	5 回 (1 回)	地域子育て支援センターの変更（のびのびからすてっぷ 21 大和田へ）に伴い、今後の地区活動の方向性について検討した。まずは、子育て支援関係者にすてっぷ 21 大和田を知ってもらう顔合わせを行った。
大和田	1 回 (1 回)	地域子育て支援センターの変更に伴い、今年度は大和田とゆりのき台地区の 2 地区での合同情報交換会を開催した。 地区の紹介やすてっぷ 21 大和田の事業紹介、各地区の団体との顔合わせを行った。
高 津	8 回 (1 回)	6 月に高津地区民協定例会に参加し、活動紹介を行った。10 月には子育て支援者の協力のもと「高津のお散歩」を実施した。 情報交換会では「10 代親の支援について」グループワークを行った。
緑が丘	4 回 (1 回)	地域の自治会やマンションにおける防災活動について情報交換を行った。“転入者も多く、地域の情報がほとんど得られておらず孤立しがち。何かできることはないか？”ということから、2 月 3 日の出前広場でクリーンプロジェクト、母子保健推進員の協力を得て、防災等について母たちへ情報提供を行った。

八千代台	6回 (1回)	支会や自治会などが主催している世代間交流を目指したイベントへの協力参加を継続的に実施。また、関係機関や団体の協力のもと八千代台地区子育て情報冊子の見直しを行い、地域の子育ての現状や子育て支援について情報交換を行った。情報交換会では、防災（子育て世代へ伝えたいこと）をテーマにグループワークを実施した。
勝田台	20回 (1回)	昨年度に引続き、防災をテーマに実行委員会を立ち上げ、11月の勝田台地区防災訓練に向けて地域の人と子育て中の母とともに防災について知りたいことを出し合い、学んだことをまとめ、掲示物などを作成した。11月の防災訓練は雨天中止となったため、1/30に行われた「お父さんと遊ぼう」で地域の人たちに紹介を行った。 (再掲：防災対策実行委員会9回)

- * 地域会議とは、「子育てしやすいまちづくり」の実現にむけ、関係機関や住民組織が集まり、情報交換や課題を検討し実践する会議です。現在9つの地域会議（地域情報交換会）が持たれています。
- ** 地域事務局会議とは、地域会議の企画運営をする会議で、地域子育て支援センターの職員と母子保健課の地区担当保健師が担っています。



2. 親の子どもへの接し方のスキルを高める事業について

地域子育て支援センターと母子保健課で構成する子育て学習講座プロジェクトチームにおいて、事業検討の話し合いを重ね、講座を行いました。

- 講座の開催実績

子育て学習講座 (2回コース)	地域子育て支援センターあいあい	参加者数：1回目2名 2回目2名
	地域子育て支援センターたんぼぼ	参加者数：1回目5名 2回目4名
怒鳴らない子育て練習法	子ども支援センター すてっぷ 21 勝田台	参加者数：1回目3名 5回目3名 2回目4名 6回目4名 3回目3名 7回目2名 4回目4名

- プロジェクト会議の開催 12回開催

3. 父親への支援について

地域子育て支援センターと母子保健課で立ち上げた“夫婦で子育て（お父さんの子育て参加）”プロジェクトチームにおいて、引き続き検討を行いました。

今年度は現状の母子保健事業や地域子育て支援事業の中で、“夫婦で子育てすること”や“お父さんの子育て参加”という視点で行っていることを整理し、各事業や子どもの月齢に併せて適切に伝えられるよう今後の工夫や改善点を検討しました。

- プロジェクト会議の開催 5回開催

【その他の主な取り組み】

1. 子どもの食育に関する取り組み

「食を通じて子どもの社会性と食の自己管理能力を身につけ、しなやかな身体、豊かなこころを育てます」

本取り組みは「やちよ食育ネットワーク協議会」が行う事業と、母子保健・子育て支援事業を中心に進められている事業の2本柱で推進しています。

(1) やちよ食育ネットワーク協議会が行う事業

◇食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」の実施

農業生産者と関わりのある食育授業を小学校全校で実施することを旨として、平成24年度より食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を実施。本事業は小学3年生を対象に、人参・ねぎ・梨・ほうれん草・酪農のいずれかの農業生産者が学校に訪問し、農業生産者・学級担任・栄養教諭等の連携で授業を行う。

平成27年度の調査において、農業生産者の協力を得て行う食育授業を実施する予定がないと回答した18校と、コーディネート希望があった2校の、合計20校を対象に授業コーディネートを実施した。学校によっては、本事業の前後に発展的な取組も実施された。



▲小学校での授業の様子。写真媒体を用いて人参の生産・出荷等について説明する農業生産者

- ・やちよ食育ネットワーク協議会・分科会合同会議 1回開催
- ・やちよ食育ネットワーク協議会 分科会会議 2回開催
- ・やちよ食育ネットワーク協議会 1回開催

◇「学校での食育を推進するための学習会」の開催（平成27年7月22日）

農業生産者・小学校教諭・栄養教諭及び学校栄養職員・やちよ食育ネット分科会委員を対象に、市内小学校の食育推進のための学習会を開催。食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」の事業説明や、農業生産者・学級担任による授業展開の紹介、学校独自の食育の取り組み等の事例発表を行った。

(2) 母子保健・子育て支援事業を中心とした食育

妊娠期からの継続した食育事業を展開しています。

◇妊娠期・・・妊婦に対するの食育（プレママ教室参加165名）

◇乳児期・・・4か月・10か月児赤ちゃん広場事業での食育（参加者2,489名とその保護者）、依頼による食育講座（2回実施 参加者26名）

◇幼児期・・・もうすぐ1歳半おやこ広場での食育（参加者710名とその保護者）、みんなで食育事業での食育（37回実施 参加者親子541名）、公民館・サークルからの依頼による出前食育講座（10回実施 参加者351名）、子育て応援ポケット事業での食育（相談人数46名 リーフレット配布枚数（2,389枚））

◇学童・思春期・・・学童保育所等からの依頼による出前食育講座（9回実施 参加者328名）、公民館からの依頼による出前調理実習（3回実施 参加者37名）、他部署からの依頼による中高生向け食育講座（2回実施 参加者11名）

2. 思春期保健ネットワーク会議の取り組み

「思春期の子は自分や他者を大切に、生と性の課題について適切に対処します」

本取り組みは平成 18 年度に発足した八千代市思春期保健ネットワーク会議を中心に医師、助産師、学校関係者、保護者、NPO 法人などのメンバーで推進しています。

(1) 八千代市思春期保健ネットワーク会議の開催

今年度は計 4 回の会議を行い、下記の「思春期の生と性」の活動について検討しました。

(2) 思春期保健シンポジウムの開催

保護者が生と性の課題をはじめとした思春期保健の重要性を認識し、各家庭での取り組みに繋げることを目的に、平成 19 年度より思春期保健シンポジウムや研修会を開催しています。

思春期保健シンポジウム「10代の生と性」IX
テーマ：知っておこう！イマドキ思春期と性教育

平成28年
1月31日(日)



▲パネルディスカッションの様子

子ども達や保護者向けの性教育を実施している NPO 法人ピルコン理事長の染矢明日香氏による講演、教育関係者を交えたパネルディスカッションを通して、“イマドキの子ども達”の性に関する現状や教育の現状をお伝えし、子ども達に伝えていくためのヒントを考えました。

83名の参加があり、参加者のアンケートからは、「子どもたちのおかれている現状が具体的に聞いてよかった」「教育現場での授業内容・実践内容が聞いてよかった」との感想が聞かれました。

(3) 中学生向けリーフレットの配布

性に関する正しい知識を得られるサイトや相談機関を掲載した「中学生向けリーフレット」を、今年度は中学 1 年生・3 年生及びその保護者を対象に配布しました。保護者へのアンケートでは、「リーフレットを活用してお子さんと話をする事ができると思う」と回答した方が 56% という結果でした。



(4) 生と性の教材貸し出しリスト・生と性に関する講師リストの更新・配布

平成 21 年に、生と性の教育実践をサポートすることを目的として作成した「生と性の教材貸し出しリスト・講師リスト」を更新しました。市内小中学校が有する教材の情報をまとめた「教材貸し出しリスト」は市内全小中学校へ配布、「講師リスト」は、講師の授業内容に関する情報の充実を図ると共に、市内全小中学校に加え、各校 PTA 連絡協議会及び保護者会、関係機関へと配布機関も拡大しました。

(5) 「八千代市オリジナル生と性の教育教材」の評価報告書の作成及び周知（作業部会）

授業前後のアンケート結果を「八千代市オリジナル生と性の教育教材」使用の有無で比較し教材の効果を測定しました。その結果や教材を使用し授業を実施した教員の声を、市教研体育部会で報告し、今年度の活用についても推奨しました。



(6) 思春期保健ネットワークニュースレターの発行

保護者や教員に、思春期の子ども達の現状や思春期保健ネットワーク会議の取り組みを伝えることを目的とし、ニュースレターの発行をしています。

平成 28 年 3 月 第 14 報発行（内容：思春期保健シンポジウム報告）